



▲ミツ症と糖度を検査

**厳選果実がずらり**  
**梨極早生等温州みかん果実品評会**

9月21日、水川町竜北物産館において、新高梨果実品評会が行われ、各生産者で厳選した梨が出品されました。「一般の部」と「ジャンボの部」の2部門に分かれ、竜北果樹部会の吉田昭洋部長や熊本県果樹技術者連盟八代支部会員らにより審査されました。特に、ジャンボ賞を獲得した梨は2キロを超える重量ながら外観も良く、生産者も驚く出来栄でした。なお、入賞した梨は物産館直売所にて展示・販売され、多くの買い物客に喜ばれていました。

また、10月1日には、JAやつしろ果樹部会主催による八代地方果実品評会(極早生等温州みかん)が行われ

○新高梨品評会受賞者

部門	入賞	氏名	地区名
新高 (41点)	金賞	岩本 雄一	迫
	銀賞	本田 満明	中大野
		古閑 俊一	中大野
	銅賞	高野 裕介	中大野
		古閑 浩治	中大野
ジャンボ(36点)	ジャンボ賞	本田 忠行	本山
		稲田 誠 (果実重量2,030g)	迫

品評会には水川柑橘部会や八代市果樹部会の会員より「日南」8点、「豊福」15点、「肥のあけぼの」5点が出品され、JAやつしろ果樹部会長や熊本県果樹技術者連盟八代支部会員らにより、果実の外観、形、玉揃い、内容(糖度・酸度)を総合的に審査されました。水川町内の入賞者は次のとおりです。

○八代地方果実品評会(極早生等温州みかん)受賞者 (敬称略)

部門	入賞	氏名	地区名
豊福 (15点)	金賞	古閑 道行	中大野
	銀賞	坂本 秀一	笹尾
	銅賞	久保田時雄	笹尾
肥のあけぼの (5点)	金賞	古閑 浩治	中大野
	銀賞	福岡 清隆	中大野



▲色艶が良く、形もきれい



▲EMポカシ製造中

**人と環境にやさしく**  
**「EM」講習会**

9月26日、上新田公民館において婦人会を中心とした町内者40人を対象に、EM製品や利用方法を学ぶ講習会が行われました。

これは、町の販売戦略助成金を受けて、宮原まちづくり(株)が運営しているエコショップ「清流」(上村恭子代表)が行ったもので、参加者は熱心にメモを取り、説明に耳を傾けていました。

EM発酵液は、町内でも農業や園芸などで利用されており、生活排水の悪臭がなく、きれいに川に戻し、河川や海の浄化に繋がります。上村代表は、「これからも町全体の取り組みとして広げていきたい。」と意気込みを話されました。



▲心臓マッサージやAEDを体験

**救命の基礎を学ぶ**  
**民生委員定例会で救急学習会**

9月13日、竜翔センター会議室で行われた、民生委員定例会において救急学習会がありました。

この日は、八代広域消防本部より救急隊員を講師として招き、高齢者に多く見られる病状と症状や、心肺蘇生法などについて学び、参加した民生委員の皆さんは、いざというときのために、メモを取るなど熱心に耳を傾けていました。

人形を使って実際に行われた心肺蘇生法やAED操作では、はじめは戸惑いも見られましたが、次第に慣れ、連携して救命措置を行うなど講師からは、「すばらしい。上手です。」と驚きの声が上がっていました。



▲とっってもおいしい!!

**あま〜い梨いただきます!**  
**学校給食に梨贈呈**

9月12日、八代地域農業協同組合竜北果樹部会梨部の皆さん(吉田昭洋部長)より、町内の小・中学校の給食用として新高梨25箱(5キロ)が贈呈されました。

このプレゼントは、子どもたちに地元農産物を食べてもらい、農業生産への興味を持ってもらおうと毎年行われているもので、さっそく、各校の調理場に運ばれ、当日の給食のデザートとして出されました。

取材で訪れた竜北東小学校1年生の教室では、大好きな梨の登場に、子どもたちは大きな歓声を上げ大喜び。ペロリとあっという間に食べていました。



▲迫力の舞台

**今年はおペラ**  
**十五夜お月さん演奏会**

9月15日、文化センターにおいて恒例の十五夜お月さん演奏会水川町文化協会主催・石村和夫会長が行われました。

今年、ラスカーラオペラ協会によるメルヘンオペラの代表的な作品、グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」の上演ということで、多くの親子連れで会場はいつぱいとなりました。

オペラ初体験の観客も多く、見慣れない舞台上驚いた表情で見る子どもたちも見られましたが、ピアノを伴奏に歌い演じる姿に、会場からは大きな拍手が送られました。



▲園児も太鼓でお祝い

**みんなで長寿をお祝い**  
**敬老会**

9月19日、竜北体育センターおよび水川町公民館において、敬老会が行われました。

台風の接近により開催日が延期となりましたが、2会場で約1200人と例年より多くの参加がありました。

お祝いの式典では、小学校児童による敬老作文発表のほか、交通安全の誓いの宣言があり、その後、敬老会員を代表して水川町老人クラブ連合会村崎厚美会長が謝辞を述べられました。

終了後は、月乃輪保育園や慈光保育園など各種団体によるアトラクションが披露され、式典に花を添えました。